

## 令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	宮城県大和町			代表者名	浅野 俊彦
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務課	連絡先電話番号	022-345-1112
担当者役職	DX推進アドバイザー	担当者氏名	岩尾 哲男	連絡先E-mail	
住所	981-3680 宮城県大和町吉岡まほろば1-1-1				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	トップセミナー	事業名	大和町DX推進計画		
概要	自治体DX推進について、DX実施の目的、推進体制、全体の進め方の手順に加え、自治体リーダー層としてどのようにDX推進するか、人材を育成させるかを講義頂きたい。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成）				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年1月23日	講演(実地)	9時00分	15時30分	60
			活動時間（分）	330	
2-2. 派遣場所	会場名	大和町役場大会議室		最寄駅	仙台駅
	所在地	宮城県黒川郡大和町吉岡まほろば1-1-1		最寄駅からの交通手段	タクシー

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	事前の打合せでの大和町の現状、課題を踏まえ、DX推進を今実施する意義、目指す姿、進め方のポイントなどを網羅した独自の説明資料を作成頂いた上に、説明も講師の過去の取組から実感を込めて、熱い熱量でお話し頂き、参加者も講義時間を通じて集中して、納得感を持って聞いている職員が多かった。
アドバイザーへの要望事項	投影資料もデータで共有頂いたので、特段要望はないです。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	90人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
人数	90	0	0	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none"><li>自治体DX推進を今進めていく必要性と目指す姿があいまいになっている。</li><li>DXの推進体制が組織編成の点で他自治体と比較して確立されていない。</li><li>各課で業務改善、DXを実施すべき現状業務の課題意識が低い</li><li>係単位では、従来の個別での業務遂行が継続し、係業務管理・連携でのチームワークが不十分</li></ul>
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none"><li>自治体DX推進を今進めなければいけない理由、目指す姿が明確になること</li><li>DXの推進体制構築の重要性を認識し、今後の組織編成やDX人材選定に繋がること</li><li>担当レベルで業務改善の必要性を認識し、業務改善・DX取組を前向きに捉えられるようになること</li><li>係のチームワークを高め、業務改善・DX取組も係の1業務として推進できること</li></ul>

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体DX推進を今進める意義、目指す姿</li> <li>職員の時間の使い方をDXでどのように変えるか?</li> <li>DX推進の実務上の課題対応</li> </ul>
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	>DX推進の意義 ・社会全体で労働者の奪い合いが始まる“公務員”“大和町”が選ばれる職場にならねばならない ・今後はデジタルネイティブ (Z世代) が増え、彼らのスキルを活かせる職場に >DXの目的 ・自治体DXは「時短」が目的ではなく、仕事(業務)の質(クオリティ)の向上を目指す ・業務のクオリティとは、業務自体が「ムダなく」「効率的」であり、職員も豊かな人生を過ごせること >職員の時間の使い方改革 ・報告書、電話応答等の”一般管理業務の時間”を削減し、業務の付加価値を増やす”成長と改善の時間”と相談・育成等の”人間関係の時間”を増やす >DX推進を拒む実務上の課題対応 ・デジタルツールを使い倒す、PCで資料を探せる環境を構築等の効率化・省力化が第一歩 ・自分の現状業務の目的、止めたらどうなるかを確認する習慣化
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 <input type="checkbox"/> ⑦その他 講演にて大和町でDX推進するための町幹部・職員の基本認識ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	講演ではDXの進め方のイメージ、他自治体の取り組み事例を説明頂いたので、それを元に、大和町での進め方を具体的に検討する必要があります。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 主なアンケート結果(N=42人)を見ると、研修の満足度は5段階評価の4.2と高い。傾向的には課長・補佐だけでは3.6であり、若い世代の満足度が高かった。一方、実務への役立ち度は3.7であり、どう進めるかの具体的なイメージは持てない人も多かったとみられる。何を学べたかの質問には、DX推進の意義と目的が多く挙げられており、今回の講演の一番の開催目的は達成できたと認識している
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい <input type="checkbox"/> ①予算は確保済みであり、年度内に推進する 1/23の自治体DX推進の研修会にて、自治体DXを進める意義、進め方をご説明頂き、現在作成中の来年度からの次期DX計画の掲載施策を着実に進めていく
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務改善・DX取組の全組織、全職員での意欲的な推進</li> <li>DXリード人材の育成、全職員のDXスキルの底上げ</li> </ul>
5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 掲載許可 <input type="checkbox"/> ○掲載可 <input type="checkbox"/> <a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a> <p style="text-align: center; color: red;">なお&lt;その他&gt;を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</p>	
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。	
	